



ご報告

まちづくりニュース

JR東海と新駅設置に係る3回目の技術相談を実施

これまでのJR東海との技術相談の振り返り

第1回
R1.12.24

●新幹線の線路と交差する道路の一般的な考え方について

第2回
R4.12.20

●新幹線の線路と交差する道路の設計条件について

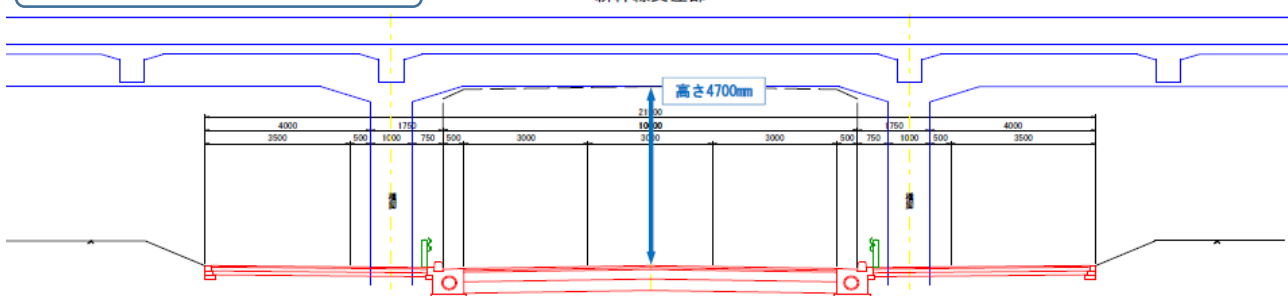
第3回
R6.1.26●新幹線の線路と交差する道路の桁下の高さについて **NEW**
●新幹線の線路と平行する道路との空間の取り方について

JR東海との技術相談も3回目となりますが、今後、より具体的な計画案についてやり取りを行っていきます。このニュースでお伝えする相談の内容・図面等は一般的な技術基準に照らした場合のものであり、確定に向けては皆さまとの土地利用等における合意形成が前提となります。

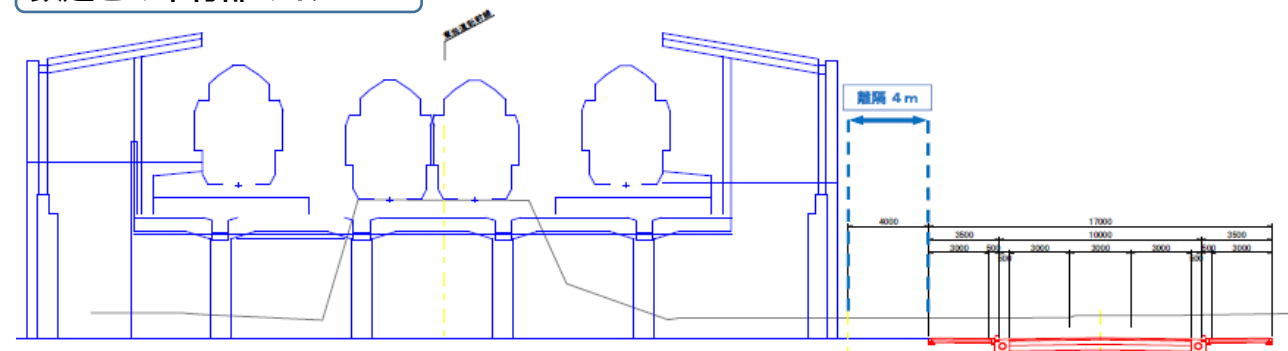
3回目の技術相談の内容

鉄道との交差部のイメージ

新幹線交差部



鉄道との平行部のイメージ



いずれのイメージ図も、現時点での相談事項として、東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会が作成したものであり、今後の検討内容により、変更になる可能性があります。

新駅が町(まちづくり)にもたらす効果とは

県央・湘南都市圏の核としての位置づけがあります

本地区は、首都圏の機能分散の一翼を担う業務施設の集積地区として、東京・関西方面への交流連携の窓口(核)となることで、周辺地域の既存産業の4割、県内人口の3割を抱える同圏域のポテンシャルを最大限発揮し、産業の活性化や関係・交流人口の創出につながります。

さまざまな都市機能が集まります

商業業務(オフィス)系はもとより、医療・福祉・文化・教育・子育て支援・IT関連などの機能、施設の進出・立地が見込まれ、「健康で文化的な都市生活」「機能的な都市活動」が確保されます。

関係・交流人口の拡大による公共交通の整備充実が見込まれます

新幹線新駅へのアクセス確保及び駅勢圏(その駅を利用しようとする居住者・事業者が存在する地域)の拡大を図ることにより、公共交通の整備が促進され、町内外に及ぶ交通体系、移動手段の充実が図られます。

これらの事に関しては、今後、皆さまとまちづくりに対する合意形成を進め、計画策定の精度向上を図ることで、より明確な社会・経済への波及効果等を一定の指標としてお示しできるようにしてまいります。

リニア中央新幹線神奈川県駅(仮称)の工事進捗状況

神奈川県駅(仮称) (令和5年12月)



(c)Central Japan Railway Company All rights reserved.

JR東海(東海旅客鉄道)株式会社ホームページより借用

- リニア中央新幹線全体の工事は、粛々と進んでおり、10都府県の沿線地域で一体的なまちづくりの取組みが進められます。
- リニア中央新幹線の整備は、東海道新幹線の活性化につながります。すなわち、リニア中央新幹線の開業後は、「のぞみ」の機能を「リニア」が果たすこととなり、「ひかり」「こだま」の増発・増停車により、静岡県内からの東西移動がはるかに促進されます。また、沿線地域はもとより、県内全域の活性化が期待されます。(リニア中央新幹線建設促進期成同盟会ホームページより抜粋)
- 神奈川県駅(仮称)の整備も、左図のとおり着実に進んでおり、今春には橋本駅南口付近に「イノベーション創出促進拠点」の建設、運営も開始される予定です。

次回説明会開催予定について

3月24日(日)、25日(月)の2日間にわたって、「土地活用」をテーマとした勉強会を開催いたします。みなさまの「将来の土地活用の可能性」について、町職員のみならず、外部講師からの説明も予定しています。ぜひご参加ください。

寒川町役場 倉見拠点づくり課 TEL0467-74-1111 (内741)

個別相談予約



まちづくり
ニュース

